

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	障害者福祉課長	安田 明
健福-30 障害者社会参加促進事業		<input type="checkbox"/> 自治事務	主管課	障害者福祉課
		<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	障害者等
意図	在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。
効果	障害者等の社会参加の促進を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

聴覚障害者等の依頼により、手話通訳及び要約筆記の派遣を行った。 障害者福祉課窓口到手話通訳を設置した。 手話講習会および要約筆記講習会を実施した。 ふれあいフェスティバルを開催した。 在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券を交付した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	45,834	決算値(千円)	39,648	
	国県支出金	3,730	国県支出金	2,555	
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	42,104	一般財源	37,093	
事業経費運営	人員配置数	1.4	人員配置数	1.4	
	人件費(千円)	12,202	人件費(千円)	11,531	
	総事業費(千円)	58,036	総事業費(千円)	51,179	
	市民1人当りの経費(円)	327	市民1人当りの経費(円)	288	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	障害者の社会参加の促進を図るために必要な支援や、福祉タクシー券等の交付、コミュニケーション支援事業等を実施する。各種制度について、持続可能な運用という観点からあり方を検討していく必要がある。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	障害者の社会参加の促進を図るために必要な支援や、福祉タクシー券等の交付、コミュニケーション支援事業等を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	障害者の社会参加の促進を図る各種制度について、持続可能な運用という観点からあり方を検討していく。	

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー	ふれあいフェスティバル実行委員会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他	見直しの内容 持続的な制度の運用のあり方を検討していく。
			事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 障害者の社会参加に対するニーズは高まっており、本事業推進のためそれらに添えていく必要があるため。
----------	---	--

総評	事業を円滑に行うことができた。制度の運用の方法や周知方法について検討し、持続的でより使いやすい制度を目指していく。
----	---

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	タクシー利用料助成券等の発行								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○			
比較事項	手話通訳者の設置・派遣の実施								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○	○	○	○			
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	手話通訳等の派遣人数						単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
聴覚障害者が容易に社会参加できる環境整備の指標となるため	目標値	460.0	470.0	480.0	490.0						
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	障害者のニーズの把握を行いながら、制度の運用の方法や周知方法について検討し、より使いやすい制度を目指していく。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---